



○物語で楽しもう！

タイトル	著者名	出版社	出版年	ラベル
おんちのイゴール	きたむら さとし    文 絵	小峰書店	2006.5	E/オ
【あらすじ】鳥のイゴールは音楽が大好き。それなのに、歌声は調子っぱずれ、とみんなに笑われてしまいます。歌が上手になるように一生懸命練習をしますが、うまくなりません。すっかり落ち込んだイゴールでしたが…。				
卒業の歌	本田 有明    著	PHP研究所	2010.1	F/ホ
【あらすじ】5年のときのクラスがえ以後、順位付けのある学級対抗ではいつも最下位だった6年3組が、校内合唱コンクールに作曲で挑むことになった。作曲の作詞をまかされた翔太、そして作曲をすることになった麻里絵は…。				
ツインツインツイン！おたのしみの はじまりはじまり	ロイド モス    ぶん マージョリー プライスマン    え かどの えいこ    やく	BL出版	1998.5	E/ツ
【あらすじ】はじめはたったひとりのトロンボーン奏者の登場。そこへトランペットが加わってデュエット。さらにホルン、チェロ、バイオリンにフルート、ハーブ…10の楽器が集まってオーケストラのできあがり。さあコンサートの始まり。				
運命のオーディション	スーザン シュリーブ    作 久米 穰    訳 むかいながまさ    絵	文研出版	1999.3	933/シ
【あらすじ】13歳のエリザは、中学のミュージカル出演を夢にしていたが、最近の自分に自信をなくし、オーディションを受けないつもり。ところが、親友で耳の不自由なルーシーが、オーディションを受けると聞いてびっくりする。				
锚を上げて ぼくらのプラスバンド物語	藤田 のぼる    著 関口 シュン    絵	文溪堂	2001.12	F/フ
【あらすじ】東北の小さな町の青木中吹奏楽部は、ここ数年ステージに立ったことがない。それが突然、秋の地区演奏会に出場することになり…。三年生部員を中心に、人生最初の岐路でのそれぞれの迷い、決断、友情を描く。				
セロ弾きのゴーシュ	藤城 清治    影絵 宮沢 賢治    原作	講談社	2012.4	E/セ
【あらすじ】セロをひくのが下手なゴーシュが、ある晩(ばん)、家で練習をしていると、そこに、三毛猫がやってきました。ゴーシュは、セロを弾いてくれとたのむ三毛猫にいじわるをして追い返しましたが、それから毎晩、いろいろな動物がやってくるようになりました。そして動物たちに言われるまま、毎晩セロを弾くと…				

○音楽に関する、知識の本

タイトル	著者名	出版社	出版年	ラベル
山田和樹とオーケストラの とびらをひらく	山田 和樹    著 松本 伸二    著 日本フィルハーモニー交響楽団    企画協力 大川 陽子    イラスト	アリス館	2013.12	764/ヤ
【内容】ようこそオーケストラの世界へ！日本だけでなく海外でも活躍する指揮者・山田和樹が、オーケストラや指揮者にまつわるさまざまな知識を子どもたちに向けてわかりやすく解説します。				
オーケストラ大図鑑	東京フィルハーモニー交響楽団    監修 PHP研究所    編	PHP研究所	2008.6	764/コ
【内容】オーケストラって何？音楽ってどうきけばいいの？演奏会(えんそうかい)が計画されてから終わるまでを、演奏会当日の様子を中心に1からわかるように説明。音楽のことがよくわかり、楽しくなるきき方も紹介します。				
世界にはばたく日本力 日本の音楽	こどもくらぶ    編さん	ほるぷ出版	2012.1	762/セ
【内容】世界をリードする日本の音楽のすごさとは？日本のクラシック音楽や現代音楽、楽器づくり、周辺産業を豊富なビジュアルで紹介。日本のさまざまな技術力と、それを可能にする「日本力」に迫る。				
「クラシック鑑賞」事典	下道 郁子    監修 PHP研究所    編	PHP研究所	2007.11	760/ク
【内容】クラシックは、まじめでむずかしいそう思いこんでいませんか？実はとっても身近なものなのです。クラシックの演奏に使われる楽器、演奏方法の説明のほか、作曲家のエピソードと、その作曲家の代表作ともいえる作品を紹介します。				
小さなミュージシャンのための 音楽ブック	エイヴァリー ハート    著 ポール マンテル    著 滝口 峯子    訳	ブロンズ新社	1997.3	760/ハ
【内容】音符が読めなくても音楽は楽しめる。この本ではだれでも気楽に楽しめる音楽を紹介している。メロディを口ずさんだり、手拍子したり、たいこをたたいたり、楽器を作ったりして音楽を楽しむの手伝ってくれる。				